

αCDを口腔ケアで提案強化

口腔内バイオフィルムを剥離する働きを持つ可能性がαシクロデキストリン（αCD）に確認されたとシクロケムが6月12日に発表した。バイオフィルムは、ジンジバリス菌など病原性細菌が形成するプラークや歯垢と呼ばれるもので、虫歯や歯周病の原因とされているもの。

同社は今後、口腔ケア素材としてαCDの提案を強める考え。同社はこれまでの研究で、αCDがキウイフルーツ由来プロテアーゼを包接・安定化させることを確認していた。

同社によると、キウイフルーツ由来プロテアーゼは舌苔除去機能を持つという。今後、昨夏立ち上げたグループ会社のコサナニュージーランドにおいてαCDで包接したキウイフルーツ果実乾燥粉末を製造し、年内にも日本国内での原材料供給を始める計画。